

オールふくおかの視点から

福岡市・中央区を見る
(見る、見る、観る、診る、看る)

民主党・県政クラブ県議団

福岡県議会議員(福岡市中央区)

原中まさし

2012年7月号 (VOL. 11)

県議会報告

〒810-0044 福岡市中央区六本松3-11-33 エステートビル102

Tel 092 (406) 9390 Fax 092 (406) 9391 E-mail info@haranaka.jp URL http://haranaka.jp/

「ひったくり」対策について一般質問しました



左端は小川知事。右側前方は菱川県警本部長。

「6月県議会」が開会されました
今議会でも一般質問に立ちました

『6月県議会』は、6月11日に開会し、13日間の会期を経て、27日に閉会しました（6/11 本会議、6/15・18代表質問、6/19～21一般質問、6/22常任委員会、6/27本会議）。

今議会は、先の『5月県議会』において選任された新しい正・副長のもと、議会の運営が進められました。

なお、新しい副議長には我が会派から新村雅彦議員（南区）が選出されました。

今議会に上程された議案は12件（条例議案7件、専決処分案件1件、工事請負契約の締結に関する議案2件、人事案件2件）で、予算を伴う議案はありませんでした。

中央区で「ひったくり」事件が急増！ 対策の強化を求めました。



6月21日 県議会一般質問3日目
県議会本議場において質問に立ちました

【都市問題シリーズ：第2弾！】

私は、県議会一般質問では都市問題を継続して取り上げています。

本年「2月県議会」では、『都市問題シリーズ：第1弾！』として「都市部における自転車交通問題」を取り上げました。そして、今「6月県議会」では都市問題シリーズ第2弾として、「都市部・中央区におけるひったくり問題」を取り上げました。

市民生活の安寧秩序を脅かす街頭犯罪のうち、近年、「ひったくり事件」は全国的にも増加傾向にあり、本県においても同様の傾向が見られます。

本県の「ひったくり」対策については、県警を先頭に、各関係機関と連携し、「ひったくり」犯罪の撲滅を進めています。

中央区内、本年1～5月までに95件を認知。昨年同期比+35件、58.3%の増加！
オートバイで追い越しさまにひったくる手口が約64%。被害者の94%は女性。

去る6月12日、午後10時半から11時過ぎにかけての、わずか30分ほどの間、中央区と博多区で「ひったくり」事件が6件も続けて発生しました。

この6件のうち、中央区では薬院1丁目、今泉1丁目という、この時間帯でも大変人通りも多く、街頭も明るい場所で起こっています。通常、「ひったくり」事件の発生については、暗い夜道というイメージがあるのですが、都心部において多発しているのに驚きも覚えます。

中央区では、本年1～5月期、前年同期比で+35

件、率にして58.3%の増加となっています。被害者のうち約94%が女性で、そのうち60歳以上が約30%と最も多く、次いで20歳代が約26%となっています。

過去3年間の検挙率は、09年54.5%、10年65.8%、11年39.4%。本年5月末現在の検挙率は38.3%、昨年同期と比較して-1.4%となっています。なお、検挙した被疑者のうち、約半数は少年です。

県警は、こうした実態を踏まえ、「ひったくり」事件の撲滅に向けた対策を強化しています。

(裏面につづく)